

令和3年度

第1回アンケート調査(いじめ・自殺)結果報告

令和3年11月

福島県立郡山支援学校
いじめ防止対策委員会

[アンケートの質問内容]

自分(じぶん)のことについて、当(あ)てはまるものすべてに○(まる)をつけてください。	
自殺防止に関わる調査	(1) 気(き)になることや悩(なや)んでいることについて
	1 学校(がっこう)や友達(ともだち)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	2 家族(かぞく)や家庭(かてい)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	3 その他(た)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	4 学校(がっこう)に行(い)きたくないと思(おも)う。
	5 いつも悲(かな)しい、苦(くる)しい気持(きも)ちになる。
	6 気(き)になることや悩(なや)んでいることを相談(そうだん)できる人(ひと)がいない。
いじめ防止に関わる調査	(2) 友達(ともだち)関係(かんけい)について
	1 冷(ひ)やかし、からかい、悪口(わるくち)を言(い)われた。
	2 仲間(なかま)はずれにされたり無視(むし)されたりした。
	3 叩(たた)かれたり、ぶつかられたり、蹴(け)られたりした。
	4 お金(かね)や物(もの)をとられたり、おごらされたりした。
	5 物(もの)を隠(かく)されたり、乱暴(らんぼう)に扱(あつ)われたり、壊(こわ)されたりした。
	6 嫌(いや)なこと、危険(きけん)なこと、恥(はずかしい)ことをさせられた。
	7 メールやSNS(エヌエヌエヌ)に、嫌(いや)なことを書(か)かれたり画像(がぞう)をのせられたりした。
	8 いじめられている人(ひと)を見(み)たり聞(き)いたりしたことがある。
9 そのほか、友人(ゆうじん)関係(かんけい)のことで困(こま)っている。	

小学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率	前年度回収率
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			10	10	100%	100%
2年	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			16	16	100%	100%
3年	1	1	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			17	17	100%	100%
4年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			6	6	100%	100%
5年	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			11	11	100%	100%
6年	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			8	8	100%	100%
計	2	4	1	7	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1			68	68	100%	100%

回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との関係、家族との関係、家庭生活(ホームシック)、勉強への不安、などが主な要因。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。
-------	---

中学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率	前年度回収率
1年	2	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			18	18	100%	96%
2年	1	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			23	24	96%	100%
3年	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			19	19	100%	100%
計	3	3	3	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0			60	61	98%	100%

回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との関係、ストレスによる体調不良、家族との関係が主な要因。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。心配な事があった際の相談体制の確認。
-------	--

高等部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率	前年度回収率
1年	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			15	15	100%	100%
2年	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			17	18	94%	100%
3年	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			12	13	92%	100%
計	1	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			44	46	96%	100%

回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身のこと、友達との関係、進路活動への不安等が主な要因。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。
-------	---

《まとめ》

いじめとして認知されるものはなかったが、いじめは目につきにくい場所や時間に行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、教師が気付きにくく判断しにくい形で行われることがある。学校としては、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係の構築に努め、児童生徒が示す変化や危険信号を見逃さずに、面談やアンケート調査を通して、生徒がいじめを訴えやすい環境を整え、積極的にいじめの実態把握に取り組んでいかなければならない。今後もいじめの未然防止に努め、早期発見と早期対応、組織的対応に力を入れていく。また、事案が発生した場合は、聞き取りにおける記録の徹底を図り、時間と回数を重ねて、事実をきちんと確認して対応していく。

学習や進路に関することを悩みとする児童生徒には教務部、進路指導部と連携を図り、当該児童生徒のバックアップに努める。

第2回のアンケートは1月の実施を予定している。